

平成 19 年 1 月 29 日

各 位

東京都新宿区西新宿六丁目 8 番 1 号
 株式会社 アドウェイズ
 代表取締役 岡村 陽久
 (コード番号: 2489 東証マザーズ)
 問い合わせ先:
 管理本部長 西岡 明彦
 電話番号 03 (5339) 7122

平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績及び事業環境の動向等を踏まえ、平成 18 年 6 月 20 日の当社株式上場日に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしますので、以下お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

【連結】

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,064	603	354
今回修正予想 (B)	4,820	100	55
増減額 (B - A)	△2,244	△503	△299
増減率	△31.8%	△83.4%	△84.5%
(ご参考) 前期(平成 18 年 3 月期)実績	3,499	465	287

【個別】

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,001	587	345
今回修正予想 (B)	4,800	80	32
増減額 (B - A)	△2,201	△507	△313
増減率	△31.4%	△86.4%	△90.7%
(ご参考) 前期(平成 18 年 3 月期)実績	3,492	457	279

2. 修正の理由

当社グループの第3四半期までの業績推移及びマーケット環境の変化等を勘案し、通期の業績見通しを修正いたします。

売上高につきましては、前期比で増収を確保しているものの、当初お知らせした通期業績予想を下回り、売上高は4,820百万円（前期比37.7%増）となる見込みであります。

主な要因といたしましては、当社の主力事業であるアフィリエイト広告事業においては、インターネット（PC）・モバイル（MO）ともに広告主数は増加させたものの、当社主要取引先である金融業界の一部企業及びインターネット・モバイルサービス企業において、広告予算の削減や広告出稿の見合わせ等があり、その影響を受けたものであります。

利益面につきましては、売上高が当初の通期業績予想を下回る一方、コスト面で人件費やシステム開発費などの固定費が当初計画どおり発生するため、前期比で減益となる見通しであります。

加えて、平成19年1月16日に公表したとおり、当社取扱広告の掲載先であるWebサイト運営者（メディア）に対する報酬額の一部誤入金が発生したことによる過払額のうち、未回収のもの（約12百万円）について、引当金処理を行なう方針により営業外費用の発生を予定しており、役員報酬の減額分を見込むと経常利益100百万円（前期比78.5%減）となる見込みであります。

以上により、連結の通期業績予想は、売上高4,820百万円（前期比37.7%増）、経常利益100百万円（前期比78.5%減）、当期純利益55百万円（前期比80.9%減）となる見込みであり、個別の通期業績予想は、売上高4,800百万円（前期比37.4%増）、経常利益80百万円（前期比82.5%減）、当期純利益は32百万円（前期比88.5%減）となる見込みであります。

3. 今後の取り組み

- 売上高の減少要因である外部環境の変化に伴う売上高への影響を減少させるため、売上構成比の低い業界に注力し、ある一定の業界に偏重していた売上構成を分散させる方針であります。
- 一層の社員教育の充実及び適正な人員配置により営業力の強化を図る方針であります。
- 平成18年12月15日に発生した誤入金などの再発防止に努めるべく、管理体制の強化を推し進め内部統制の強化を図る方針であります。

以 上

ご注意：業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社において判断したものであります。業績予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。この業績予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控下さい。